

第71回日本臨床検査医学会学術集会 スポンサードセミナー1

検査室経営戦略

～事例から学ぶ検査室経営の常識と新たなる戦略～

日時：2024年11月30日(土) 16:40~17:30

会場：グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)
10階第5会場(会議室1001)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51



座長 三浦ひとみ先生

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長

演者 本間裕一先生

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 検査部 技師長

共催：第71回日本臨床検査医学会学術集会／ダナハーグループ

(ベックマン・コールター株式会社／ラジオメーター株式会社／ライカマイクロシステムズ株式会社)



検査室経営戦略

～事例から学ぶ検査室経営の常識と新たなる戦略～

【講演の目的】

検査室の実践的な経営や戦略的な考えは独学に頼ることが多く、各施設の長は手探りでマネジメントを行いながら、常に模索していることと思われます。そこで病院検査室、行政での経験を基に、また医業経営コンサルタント側から見た、より実践的な検査室経営に関わる知識について下記の5点について解説することで、今後の各検査部門運営を考えてゆく一助になればと思います。

【検査部門の収支と検査室の運営形態】

一般的に企業等で実施されている部門毎の収支作成ですが、検査部門での収支管理を行っている病院は少ないと考えます。そこで検査室部門の正確な収支作成方法と、各検査室の運営形態について、経営的視点から分析する方法について解説します。

【企業連合方式（課金）の計算方法】

課金についてはブラックボックス化され、検査一項目の価格が適正であるか否かの精査が困難であると思います。そこで検査一項目の適正な価格の計算方法について解説します。

【医療機器の購入の考え方】

医療機器の購入については各施設によって様々な方法が用いられていると思います。そこで経営的視点を基に、ライフサイクルコストを考えた医療機器購入やメーカー側から見た4P4C分析に基づいたマーケティング戦略について解説します。

【職員の経営マインドの醸成】

検査室の経営に関しては、検査室の管理職だけが行えばうまくいくものではありません。そこで、スタッフ全員が経営意識を持ち、経営改善に向けた行動を起こすまでに用いた手法について事例を用い解説します。

【医療DX 令和ビジョン2030 後の検査部門戦略】

国は医療DX 令和ビジョン2030を発表し、その3本柱である「全国医療情報プラットフォームの創設」「電子カルテ情報の標準化」「診療報酬改定DX」について具体的な取り組みを始めました。これらが意味する事と今後の検査室の戦略について解説します。